

## 第2回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 令和2年8月18日（火）午後3時00分～午後3時50分
2. 開催場所 Web会議
3. 出席者 委員5名（石原委員長、入江副委員長、酒井委員、塩瀬委員、高津委員）  
豊橋市4名（前田行政課長、戸苅行政課課長補佐、鈴木行政課主査、土屋行政課担当）
4. 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課課長補佐)	定刻となりましたので、ただ今から、第2回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 今回の外部検証委員会で令和元年度の行財政改革の取組に対する外部評価をとりまとめることとなりますので、よろしくお願ひします。 それでは、早速ですが石原委員長に進行をお願いしたいと思ひます。委員長、よろしくお願ひいたします。
石原委員長	ただ今、事務局より説明がありました。今回で、令和元年度の行財政改革の取組に対する外部評価をとりまとめることとなります。 まずは事務局より、外部評価の事務局案と意見に対する回答の説明を願ひます。
事務局 (行政課)	《資料を用いて説明》 (外部評価の事務局案について)
石原委員長	外部検証委員会として意見をまとめたと思ひます。 追加で意見等があればご発言をお願ひします。酒井委員いかがでしょうか。
酒井委員	コロナウイルス感染症の影響や、感染拡大防止に伴うIT化の浸透など、プランの策定当初とは外部環境が大幅に変わってきています。それら変化を取組にどう反映していくかが大事ではないかと思ひます。

発言者	要 旨
石原委員長	<p>私からも三点、追加で意見を述べたいと思います。</p> <p>一点目、自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。情報を戦略的に考える部署であったり、CIO（最高情報責任者）のようなキーパーソンとなる人物を置いていた方がいいのではないかと思いました。</p> <p>二点目です。豊橋市の公営企業は黒字ということですが、新型コロナウイルス感染症の影響が今後、公営企業の経営に確実に出てくることとなります。今後減損会計も意識しなければならないといった意見も入れてはどうでしょうか。</p> <p>三点目です。市民への情報提供について、豊橋市は主要施策評価報告書などで様々な情報提供を市民にしているところですが、今求められているのは全ての人に対して一つの媒体で簡潔でコンパクトに外部に情報発信することではないでしょうか。大学法人では統合報告書を出すところが増えていきます。行政改革の観点から、種々の報告書を統合した統合報告書の発行することを検討してみてもどうでしょうか。</p>
高津委員	<p>部課長の財政に対する意識が大切という意見が他の委員からありました。どうしたら部課長が、より行財政改革の意識を持って働くことができるのか、委員等の有識者に教示してもらってはどうか。</p> <p>また、プランの指標についての意見もありました。設定した指標が取組の結果を示すものであるのか、今一度考えて欲しいと思います。</p> <p>また、市役所にはこの外部検証委員会のような外部の委員からの批評を上手に利用してもらい取組をより進めてもらえばと思いました。</p>
入江委員	<p>取組の結果をうまく表す指標を設定するのは難しい作業だと思います。成果を単純に把握しやすいのはアウトプットですが、アウトプットだけに目が行くと、本来得られるべき価値を示すアウトカムが把握しにくくなります。</p> <p>取組状況報告書の中で、アウトプットだけが目についたところについて意見をさしてもらいました。指標については、外部評価を受けて今後どのように反映をさせていくの</p>

発言者	要 旨
	<p>か気になるところです。</p> <p>また、公営企業の指標について病床稼働率を指標として入れることを一度検討されたとのことですが、どのような理由で指標に設定しなかったのか気になります。</p>
行政課長	<p>指標の件ですが、事業の性質によってうまく数値化できないものもございます。何かいい指標があればご教示いただきたいと思っております。</p>
入江委員	<p>全ての取組で無理矢理定量的な指標を設定せずに、定性評価も織り交ぜるなど、文章表現で補う部分があってもいいと思っております。</p>
石原委員長	<p>指標について、予算主義の行政に対して、企業では決算が重視されます。企業は顧客に対して何を提供できるのかといった、顧客価値提案を強く意識して、そこから指標を導いていきます。</p> <p>高津委員から部課長の意識改革についてのお話がありましたが、いろいろな自治体を見ていると定められたルールや前例を守るのが自分たちの仕事と思っている部課長が行政には多い印象があります。外部環境は常に変化していますので、部課長にはルールや前例を守るだけでなく変化へ対応する精神と経営者意識を持つことが重要だと感じています。</p> <p>塩瀬委員から、追加でご意見等はありませんか。</p>
塩瀬委員	<p>自分が出した意見は概ね反映をしてもらっているので、追加での意見はありません。ただやはり、行政に対しては新型コロナウイルス感染症の影響をどのように捉えているか気になるところです。</p>
酒井委員	<p>豊橋市でも新型コロナウイルス感染症を機に、時差出勤やテレワークを導入したかと思っております。それら新しい取組を一過性のものでなく定着をさせていくことができれば、女性管理職の登用等でも新しい視点が見えてくると思っております。今後の取組として検討いただければと思っております。</p>
高津委員	<p>地域主導型のシビック・プライドを醸成するような取組みを行えないか検討をする必要があるという意見に共感しました。大学の方からも、シビック・プライドを醸成する取組に協力してもらえればと良いと思っております。</p>

発言者	要 旨
入江委員	<p>シビック・プライドを醸成する取組の例として、掛川市での地域住民を巻き込んだのシティプロモーション事業があります。この事業は、地域住民に参加してもらい地域の魅力を発信し、併せて参加する住民のシビック・プライドも醸成するという取組です。</p> <p>また、大学が地域の中に出て行かないといけないのは委員ご指摘のとおりだと思います。</p>
石原委員長	<p>官民連携には、自然人だけではなく企業も含まれる場合があります。</p> <p>現在、新たな試みとしてソーシャルインパクトボンドという仕組みが注目されています。これは、社会問題などで一定の成果を上げた場合のみ行政が事業体にお金を支払う仕組みです。行政としては、成功報酬を出すだけで良く、民間企業としては、成功すればそれで良いですし、仮に事業目標を達成できなくても株主に対して説明責任を果たすことができます。これらの仕組みも知っておくべきではないでしょうか。</p> <p>さて、そろそろ時間がせまっています。本日出た意見を加筆し、外部検証委員会としての意見とし最終的な外部検証委員会の意見としたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
	(異議なし)
石原委員長	<p>最後の確認を私に一任いただき、事務局と調整させていただければと思いますが、皆様よろしいでしょうか。なお、まとめました外部評価については事務局よりメール等にて委員のみなさんへ送付いただくようお願いします。</p> <p>今後について事務局より連絡があるとのことですので、進行をお返しします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>長時間にわたるご審議ありがとうございました。</p> <p>本日いただきましたご意見を基に取組状況報告書を作成し、行財政改革推進本部・市議会へ報告後、ホームページで市民の皆様にご公表をいたします。</p> <p>本日はお疲れ様でした。</p>